

クラウド時代におけるシステム間連携基盤

Infrastructure for Multi System Linkage with Cloud Computing

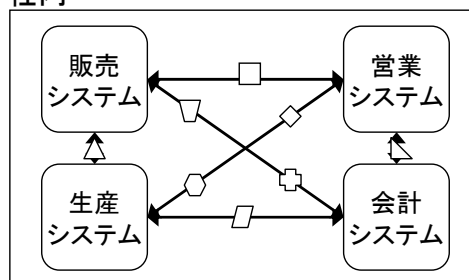
クラウドに代表される、インターネット上で提供されるITサービスを企業の業務システムで活用する動きが進んでいる。しかし、現状の多くのシステムは複数の業務システムが密にデータ連携を行っており、簡単にクラウド化したサービスに入れ替えることが出来ない。

システム間連携基盤は、全ての業務システム間を流れるデータを集中させ、業務システム間で共通のデータ交換の場を提供し、各業務システム間の連携を拡張性の強い疎結合とする。疎結合された業務システムは、他の業務システムを意識することなくクラウド化された最新のITサービスの活用が容易となる。これにより、経営の変化に対応でき、コストを抑制した情報システムが提供可能となる。

■ 従来 : 密結合

各業務システムは、相手を意識してデータ連携。
業務システムの入れ替えが難しい。クラウド化は難しい。

社内

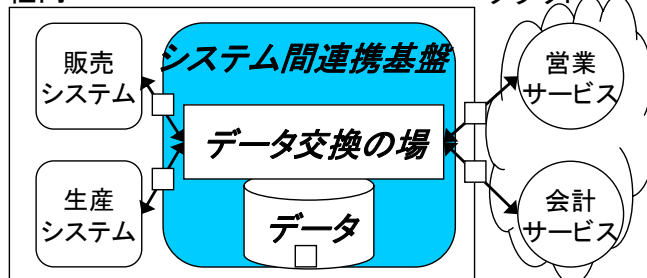


クラウド化

■ システム間連携基盤 : 疎結合

各業務システムは、「データ交換の場」とデータ連携。
業務システムの入れ替えが簡単。クラウド化が簡単。

社内



クラウド時代におけるシステム間連携基盤のメリット

<取り扱い: 三菱電機インフォメーションテクノロジー(株) TEL:03-6414-8122>